2018年　病院・地域精神医学

総 目 次

第61巻（通巻207～209号）

第61巻第１号（通巻第207号）

〔巻頭言〕　精神科医療改革，歴史，未来，
診療報酬，この学会　中島　直　1

第60回総会（長野松本大会）特集＜２＞

●シンポジウムⅠ　Ⅰ－Ａ１：病院と地域との新たな連携
１．地域移行を進めるために、病院のできること
地域との連携　荻野紅葉　5
２．病院と地域の新たな連携に必要なもの
～地域の取り組みから～　大池ひろ子　8
３．ピアサポーターとして生きる～尊厳と生きる力を取り戻す大堀尚美　11
４．一人でも多くの方が地域生活へ移行するための
取組みについて　東條知子　14
５．助言者から　小林良清　15
○シンポジウムⅠ　Ⅰ－Ａ１　質疑討論　17

●シンポジウムⅡ理事会企画　Ⅰ－Ｂ１：
精神保健福祉法体制からの転換Ⅱ
１．精神保健福祉法体制からの転換Ⅱ　長谷川利夫　20
２．精神保健福祉法体制からの転換に向けて　弁護士の立場から　東　奈央　21
３．精神保健福祉法の構造の解体に向けて　長谷川唯　23
○シンポジウムⅡ理事会企画　Ⅰ－Ｂ１　質疑討論　26

●シンポジウムⅤ　Ⅱ－Ｂ１：地域包括ケアを含めた認知症ケア
１．精神科医療としての認知症診療　埴原秋児　30
２．訪問看護の視点から認知症ケアを考える　上原晴美　31
３．保健行政から見た認知症ケア　上條敦子　34
４．長野県が目指す地域包括ケアについて　社本雅人　36
５．地域包括ケアを含めた認知症ケア
駒ヶ根市の認知症施策とその展開　浜　達哉　38
○シンポジウムⅤ　Ⅱ－Ｂ１　質疑討論　40

●一般演題２　Ⅰ－Ｄ２：地域生活
１．グループホームにおける精神障害者の生活（くらし）
茨城県内の精神障害者GHの調査研究を通して
佐藤華奈子　川島麻子　斎藤　悟　松本直行　髙島眞澄　43
２．就労継続Ｂ型事業所における
健康相談の現状と課題　土川洋子　45
３．精神障害をもつ通所施設利用者の身体の
健康への取り組みについて　荻野夏子　式守晴子　46

●一般演題６　Ⅰ－Ｅ１：児童・青年
１．児童・思春期にある愛着障害をもつ子どもの
ケアに関わる看護師の感情体験
川越尚子　木野有美　牧　茂義　木野徳磨　49
２．救急病棟で子ども達のケアを実践するために
―発達支援チームの発足から１年を振り返る―
清野聡子　高橋正明　守谷洋右　野尻絵美子　安田雄祐　53
３．養護教諭による小中高生の精神保健問題への
支援に関する文献検討　河野由理　末続なつ江　56
４．ひきこもり臨床におけるカウンセリングとそれ以外
～当事者青年のその後から～　山岸竜治　58

●一般演題７　Ⅰ－Ｅ２：チーム医療１
１．医師の訪問活動を通してみえてきたこと　武谷　憲　60
２．境界性パーソナリティ障害（BPD）に対する
多職種チームの関わり
宮城正亮　土井安希　平井幸恵　62
３．医療スタッフのアルコール依存症に関する理解度
―精神科からの出前講座における調査より―
大越拓郎　64
４．地域における精神保健福祉士の
ソーシャルワーク実践の向上を目指して
―ピア・グループ・スーパービジョンを活用した取り組み―
鶉領太郎　67

●一般演題８　Ⅰ－Ｅ３：リハビリテーション
１．精神科リハビリテーションにおける体力・
運動能力回復のための運動プログラムの検討（第２報）
中村恭子　広沢正孝　鈴木宏哉　鈴木利人　渡部利一　69
２．統合失調症患者におけるメタ認知トレーニングの実践
～認知機能と認知バイアスとの関連性に注目して～
藤井恭平　71
３．統合失調症患者の服薬管理能力向上を目指した
看護実践　伊部史浩　74
４．認知行動療法を取り入れたグループセラピーの
有効性の一考察
導入方法の提示に向けて　高橋健志郎　古川登志子　76
５．長期在院者の地域移行における
個別作業療法の有用性　山内章吾　78

●一般演題９　Ⅱ－Ｃ１：就労
１．就労支援から始まる精神科リハビリテーションの
これからのあり方
～地域特徴を生かし、地域にあった
雇用創出を目指す取り組み～　木下一雄　80
２．経営的観点から考える
中小企業の障害者雇用の企業メリット　山口弘幸　82
３．精神障害者の地域生活における
就労継続支援Ｂ型事業所の価値
～工賃工場を目指してはいない，
とある作業所を通しての考察～
籏野哲也　84

●一般演題10　Ⅱ－Ｄ１：チーム医療２
１．単科精神科病院の外来医療が求められているものと
果たすべき役割　―５場面における介入―
浅川喜久次　松本美香　成田真由子　蓮井亜矢
指方直樹　山口由子　須藤正子　87
２．アルコール依存症患者の看護実践において
看護師が感じている心残りの内容
髙橋たか子　小平優子　中村香代　89
３．ストレングスモデルを取り入れた，
看護者の視点の変換の効果検討　森本裕己　宰務香代　92
４．Anticipation Dialogueについて語る
―ダイアローグ体験と振り返りを通じて―
舘澤謙蔵　蓑島豪智　94

【研究論文・報告】
精神科病院の長期入院患者が院外の店舗で
買い物をすることに対する不安
木下僚介　樋口賢太　96

編集後記　永井優子　101

第61巻第２号（通巻第208号）

〔巻頭言〕　動き出したもの　蓑島豪智　103

第60回総会（長野松本大会）特集＜３＞

●企画特集　相次ぐ精神障害者監禁事件が意味するもの
特集にあたって　西尾雅明　107
呉秀三・樫田五郎「精神病者私宅監置の実況」
が現代精神医療に問いかけるもの　高畠克子　108
私宅監置と病院隔離室はつながっている
～呉秀三の著書から考える精神医療の過去と現在～
西隈亜紀　113
沖縄の私宅監置について　山城紀子　117
精神障害者の「行動の自由を奪う」ことへの看護師の関与
―精神科病院における隔離・身体拘束と看護師―
阿部あかね　121
精神医療の歴史に照らして考える精神障害者監禁事件
―呉秀三「精神病者私宅監置ノ実況」から100年、
病院と地域は何が変わったか？―　古屋龍太　125

●シンポジウムⅢ　理事会企画 Ⅰ－Ｂ２：
隔離･身体拘束を考える　身体拘束を可視化し､議論を行おう
１．隔離・身体拘束が必要であるという
「文化」「常識」を問い直してみる　蓑島豪智　130
２．当事者の立場から　戸田和博　133
３．山梨県立北病院における
強制治療審査システム　横森いづみ　133
○シンポジウムⅢ Ⅰ－Ｂ２　質疑討論　136

●シンポジウムⅥ Ⅱ－Ｃ２：就労支援
１．地域住民との協働やまちづくりからみえてくる
障害者就労支援　遠藤真史　川俣祐一　143
３．精神科医療機関と公共職業安定所の連携による
就労支援　竹内守道　145
４．生活支援からの就労支援　二宮彰浩　147
○シンポジウムⅥ Ⅱ－Ｃ２　質疑討論　148

●交流コーナー Ⅱ－Ｅ2：
長期入院患者の退院促進・地域定着支援のための戦略ガイドラインの試行
～病院・地域統合型支援マニュアルをベースとした圏域体制構築の試み～
長期入院患者の退院促進・地域定着支援のための戦略ガイドラインの試行
～病院・地域統合型支援マニュアルをベースとした圏域体制構築の試み～
古屋龍太　高野悟史　中越章乃　瀧本里香　古明地さおり
古屋喜代子　酒本知美　山下眞史　贄川信幸　岩見祐亮
興津純　大石信弘　大島巌　152

●診療報酬セミナー Ⅰ－Ｃ１：現制度の中でできることから将来の方向性を探るⅡ
２．現制度の中でできることから
将来の方向性を探るⅡ　舘澤謙蔵　155
３．現制度の中でできることから
将来の方向性を探るⅡ　三善富士雄　156

●一般演題４ Ⅰ－Ｄ４：権利擁護１
１．精神科病棟での入院環境の改善に向けた取り組み
～携帯電話を所持することの効果とスタッフの意識変化～
中本公美　古川友美　有我譲慶　遠山清秀　庄司寛子　160
２．地域からの風を私たちは活かせるのか？　パートⅢ
～「出張法律相談」を利用し弁護士と
協働する意義を考える～
大河内咲　保田美幸　舘澤謙蔵　162
３．精神科ソーシャルワーカーの論理と
倫理と方法論　東谷幸政　164

●一般演題５ Ⅰ－Ｄ５：権利擁護２
１．措置入院の退院および退院後支援のあり方に向けて
―一病院における措置入院の実態の分析―
中島　直　佐藤利奈　石原恵亮　松原玲子　藤井友美　165
２．医療保護入院と患者の権利擁護
―強制のための権利擁護論　長谷川唯　桐原尚之　166
３．精神科の入院患者はなぜ，権利意識をあまり持てないのか
～スタッフの権力性，セルフスティグマ，内的抑圧～
原　昌平　168

●一般演題11 Ⅱ－Ｄ２：当事者活動
１．ピアサポートグループが地域活動支援センター内にあることの意味ともたらす効果
盛　健一　渡邊恵子
共同研究者：中村美智子　田中文人　添田雅宏　峰岸宏恵　170
２．精神障害者の配偶者が抱える生活上の
困難さに関する現状調査　前田　直　171
３．医療サービスのアクセシビリティ
―精神障害をもつ人たちの主張から　伊東香純　173
４．ピアサポーターと協働した精神科
『社会的入院』患者へのモチベーション・サポート
～第１報　主に病棟スタッフのモチベーション変化について～
阿部幸弘　中川　有　宮澤純代　174
５．アール・ブリュットと芸術活動支援
山口弘美　山口弘幸　176

編集後記　にらさわあきら　177

第61巻第３号（通巻第209号）

〔巻頭言〕　社会の質的変化と病地学会の進むべき道
長谷川　利夫　181

第61回総会（東京船堀大会）特集＜１＞

●現地報告 Ⅰ－Ａ２：
東京都立精神保健福祉センターにおける
アウトリーチ支援事業について
東京都立精神保健福祉センターにおける
アウトリーチ支援事業について　平賀正司　187

●編集委員会企画 先達に聞く Ⅰ－Ａ３：
60年前松沢病院で目ざしていたもの､その妨げとなったもの
―そして，いまおもうこと―
60年前松沢病院で目ざしていたもの，その妨げとなったもの
―そして，いまおもうこと―
藤本 豊　佐藤 朝子　岡田 靖雄
守屋 昭　髙島 眞澄　福冨 律　190

岡田先生のお話を伺って　佐藤 朝子　206

第61回日本病院・地域精神学会
「編集委員会企画　先達に聞く」を終えて
－60年経っても変わらない精神医療－　藤本 豊　206

●教育講演 Ⅱ－Ｃ１：
統合失調症患者の服薬アドヒアランス向上を目指した薬物療法
統合失調症患者の服薬アドヒアランス向上を目指した薬物療法　亀井浩行　岩田仲生　208

●公開講座 Ⅱ－Ａ３：
精神科病院を「収容所」から「病院」にするために ～私の臨床経験～
精神科病院を「収容所」から「病院」にするために ～私の臨床経験～　横田 泉　211

●一般演題２ Ⅰ－Ｃ２：外来・リハビリテーション
１．当事者の暮らしに精神科リハビリテーションは活かされているのか ～デイケアにおけるかかわりから～　岩﨑香織　熊坂美香　215
２．単科精神科病院の外来医療が求められているもの ～アンケート調査からの一考察～　浅川喜久次　平田節子　徳竹佐加絵　松本美香　成田真由子　217
３．意思を尊重した介入が病棟生活に変化をもたらした事例 ～身体機能訓練でない歩行訓練～　曽根崇弘　221

●一般演題５ Ⅰ－Ｃ５：メンタルヘルス
１．学習室開設への取り組み― 子ども達の学習支援を考える ―　清野 聡子　栗田 篤志　高橋 正明　佐藤 利奈　223
２．ひきこもり臨床における治療・支援場面の「外側」 ― 当事者青年のその後から ―　山岸 竜治　224
３．精神看護学教員の自己の体験と教育活動 ― 教員のライフストーリーを通して ―　榊 恵子　226
４．ダイアローグ以前の「対話」 ― 未来語りのダイアローグの実践を通じて ―　舘澤 謙蔵　228

●一般演題７ Ⅰ－Ｄ３：精神科病院
１．診断名にとらわれた私たちによって奪われた個性　木村美鈴　231
２．落ち着いて過ごせる音環境改善への取り組み ～アンケート調査からの気づきと意識変化～　松本順子　山田恵美　渡邉佳代　233
３．行動制限最小化に対する看護師の意識の変化　松岡寛明　中川真紀　野尻絵美子　235
４．精神科病院における長期入院者に対する退院支援 ～本人主体の支援と退院支援委員会（診療報酬）の役割～　小野 滋　237

【学会だより】
第61回総会（船堀）総会議事　241
総会議事　議案書・資料　247
2018年度　理事会・評議員会合同会（2018年12月12日）　272

編集後記　西隈　亜紀　276